

今年も、サイクルフェスティバルに出展

日本自転車工業会中部支部の主催するサイクルフェスティバルが、'95年4月28日から5月1日(月)までポートメッセなごやにて開催された。

技術研究所は独自のブースを持って、成果の普及と、自転車の技術の啓蒙を行った。

技術研究所が試作した車いす3台を展示し、内2台は「試乗会コース」にて試乗させた。訪れた身障者やブース来訪者の熱心な関心もあり、車いす試乗会を含めて好評であった。

また折り畳み自転車を用意し、折り畳みを体験してもらった。市販折り畳み自転車は、こうした自転車の存在すら知らない人が多く、阪神大震災で活用されたとの新聞報道で初めて知り、実演と折り畳み体験の関心が高かった。幅広い自転車への理解と、需要の掘り起こしにつながるものであろう。

また技研の研究紹介のビデオ上映および技研紹介パネルを用意した。このような自転車、車いすの紹介、それを支える技術解説、それによる安全への安心感をPRしていくことは今後とも必要である。

本展示会は有料(大人1000円)にもかかわらず、3日

間にて10万人にせまる入場者数があり、アウトドアスポーツに対する関心が高いことがわかる。

自転車業界はこうした積極的な需要層に対し、時流をとらえた企画で積極的に出展していく必要がある。

研究所は今後も、成果のアピール、技術の普及、技術による自転車の価値の啓蒙等を行っていくとともに、幅広い自転車への理解と、需要の掘り起こしを行っていくつもりである。



技研ブース